

有圧換気扇システム部材

風圧式シャッター

取付工事・取扱説明書

	形名	適用機種	
鋼板製	PS-20SH	羽根径 20 cmの有圧換気扇	
	PS-25SH	羽根径 25 cmの有圧換気扇	
	PS-30SH	羽根径 30 cmの有圧換気扇	
	PS-35SH	羽根径 35 cmの有圧換気扇	
	PS-40SH	羽根径 40 cmの有圧換気扇	
	PS-50SH	羽根径 45・50 cmの有圧換気扇	
	PS-60SH	羽根径 60 cmの有圧換気扇	
	PS-70SH	羽根径 70 cmの有圧換気扇	
	PS-80SH	羽根径 80 cmの有圧換気扇	
	PS-100SH	羽根径 95・100 cmの有圧換気扇	
ステンレス製	PS-20SHX	羽根径 20 cmの有圧換気扇	
	PS-25SHX	羽根径 25 cmの有圧換気扇	
	PS-30SHX	羽根径 30 cmの有圧換気扇	
	PS-35SHX	羽根径 35 cmの有圧換気扇	
	PS-40SHX	羽根径 40 cmの有圧換気扇	
	PS-50SHX	羽根径 45・50 cmの有圧換気扇	
	PS-60SHX	羽根径 60 cmの有圧換気扇	
	高耐食タイプ	PS-30SHX-F	EF-30BSXB-F・EF-30BTXB-F
		PS-40SHX-F	EF-40DSXB-F・EF-40DTXB-F
		PS-50SHX-F	EG-50ETXB-F
PS-60SHX-F		EG-60FTXB-F	
耐熱タイプ	PS-40SH-H	EF-40ETB-H	
	PS-50SH-H	EF-50FTB-H	
	PS-60SH-H	EG-60FTB-H	

※風圧式シャッターは給気用には使用できません。

(工事店さまへ)

取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

(お客さまへ)

ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

<p>取付時</p> <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有圧換気扇と共締めするときは、メタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と接触しないように取付ける【電気設備技術基準 第182条】(接触して取付けると漏電した場合火災の原因になります)
<p>取付時</p> <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分解・改造はしない(けがの原因になります) 取付けやお手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る(通電状態では感電やけがをすることがあります)

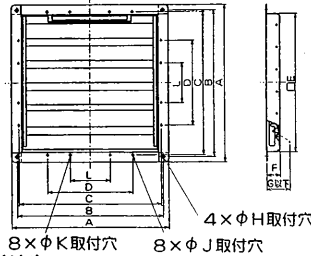
注意 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

<p>取付時</p> <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う(落下によりけがをすることがあります)
--------------------------------	--

取付け前のお願い

- 次のような場所や取付けかたをしないでください。(故障の原因になります)
 - 氷結する恐れのある場所
 - ほこりの多い場所
 - 斜め取付け
 - 傾斜のある面への取付け
 - ゆがんだ面への取付け
- 腐食性物質・腐食性ガスの濃度が高い場所では高耐食タイプを使用してください。著しく濃度が高い場合は高耐食タイプでも製品寿命が短くなります。
- 耐熱タイプシャッターの使用可能温度は-10℃～+80℃です。その他のシャッターは-10℃～+50℃です。この範囲を超えますと変形、破損につながるおそれがあります。
- 直接雨水が当たる場所では、必ずウェザーカバーをご使用ください。
- 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、ダンパーが動作したときシャッターブレードに当たらないように、シャッターを室内側から取付けてください。壁厚は外形寸法図のG寸法以上確保してください。

外形寸法図



付属部品

PS-80SH, 100SH
ボルト、ナット、スプリングワッシャー…各12個
(大風量形有圧換気扇のKHタイプとシャッター共締めするとき使用する)

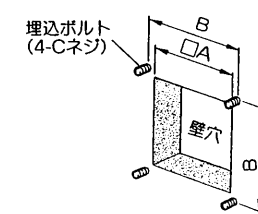
変化する表 単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	取付穴間隔	質量(kg)
鋼板製 PS-20SH	310	280	264	150	222	60	110	10	8	—	—	2	1.1
鋼板製 PS-25SH	360	330	314	160	272	60	105	10	8	—	—	3	1.4
鋼板製 PS-30SH	410	380	364	200	322	60	110	10	8	—	—	3	1.7
鋼板製 PS-35SH	458	434	434	250	370	60	105	12	8	—	—	4	2.0
鋼板製 PS-40SH	510	460	460	260	422	60	110	14	8	—	—	4	2.8
鋼板製 PS-50SH	610	560	560	280	523	60	110	14	8	—	—	5	4.0
鋼板製 PS-60SH	700	650	650	380	613	60	110	14	8	—	—	6	6.0
鋼板製 PS-70SH	830	800	800	400	738	85	125	15	15	—	—	7	10.0
鋼板製 PS-80SH	930	900	900	500	838	85	125	15	15	15	400	8	12.0
鋼板製 PS-100SH	1090	1060	1060	600	998	85	125	15	15	—	—	10	16.0
ステンレス製 PS-105SH	1240	1210	1210	750	1148	85	125	15	15	—	—	11	18.0
ステンレス製 PS-20SHX	310	280	264	150	222	60	110	10	8	—	—	2	1.1
ステンレス製 PS-25SHX	360	330	314	160	272	60	105	10	8	—	—	3	1.4
ステンレス製 PS-30SHX	410	380	364	200	322	60	110	10	8	—	—	3	1.7
ステンレス製 PS-35SHX	458	434	434	250	370	60	105	12	8	—	—	4	2.0
ステンレス製 PS-40SHX	510	460	460	260	422	60	110	14	8	—	—	4	2.8
ステンレス製 PS-50SHX	610	560	560	280	523	60	110	14	8	—	—	5	4.0
ステンレス製 PS-60SHX	700	650	650	380	613	60	110	14	8	—	—	6	6.0
高耐食タイプ PS-30SHX-F	410	380	364	200	325	60	110	10	8	—	—	3	1.7
高耐食タイプ PS-40SHX-F	510	460	460	260	425	60	110	14	8	—	—	4	2.8
高耐食タイプ PS-50SHX-F	610	560	560	280	526	60	110	14	8	—	—	5	4.0
高耐食タイプ PS-60SHX-F	700	650	650	380	616	60	110	14	8	—	—	6	6.0
耐熱タイプ PS-40SH-H	510	460	460	260	425	60	110	14	8	—	—	4	3.3
耐熱タイプ PS-50SH-H	610	560	560	280	526	60	110	14	8	—	—	5	4.7
耐熱タイプ PS-60SH-H	700	650	650	380	616	60	110	14	8	—	—	6	6.2

取付方法

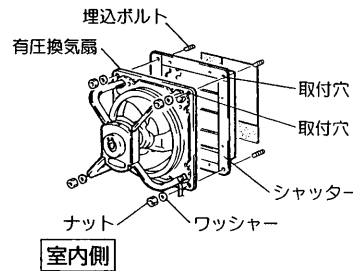
壁穴および埋込ボルト寸法

下図を参照して壁穴をあけ、埋込ボルトを埋め込む。



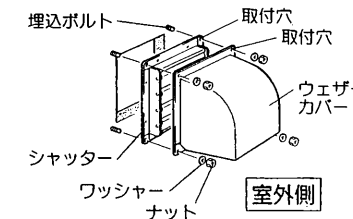
タイプ	A	B	C
PS-20	230	280	M8
PS-25	280	330	M8
PS-30	330	380	M8
PS-35	380	434	M8
PS-40	430	460	M12
PS-50	530	560	M12
PS-60	620	650	M12
PS-70	750	800	M12
PS-80	850	900	M12
PS-100	1010	1060	M12
PS-105	1155	1210	M12

有圧換気扇と共締めで取り付ける場合



- シャッターの取付穴を埋込ボルトに差し込む。
- 有圧換気扇の取付穴を埋込ボルトに差し込み、市販のワッシャー・ナット各4個で確実に締め付ける。
- PS-70タイプ以上のもので、有圧換気扇と共締めする場合は12か所確実に締め付ける。(埋込ボルトは有圧換気扇の取付工事・取扱説明書を参照して埋め込んでください)

ウェザーカバーと共締めで取り付ける場合



- シャッターの取付穴を埋込ボルトに差し込む。
- ウェザーカバーの取付穴を埋込ボルトに差し込み、市販のワッシャー・ナット各4個で確実に締め付ける。
- 製品と壁面のすき間は雨水浸入防止のため市販のコーキング材で埋める。

お願い ●取付け後シャッターが確実に開閉するか、振動や異常音がないか試運転をしてください。

お手入れ

約3か月に一度を目安に中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い ●お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。(さびの原因になります) シンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ洗剤など